

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-44734

(P2003-44734A)

(43) 公開日 平成15年2月14日 (2003.2.14)

(51) Int. Cl.	識別記号	F I	キーワード (参考)
G 0 6 F 17/60	3 2 4	G 0 6 F 17/60	3 2 4
	3 0 2		3 0 2 Z
	3 3 0		3 3 0
	5 0 2		5 0 2
	Z E C		Z E C
審査請求 未請求 請求項の数21 O L (全 11 頁)			

(21) 出願番号 特願2001-235885(P2001-235885)

(22) 出願日 平成13年8月3日 (2001.8.3)

(71) 出願人 595156322

株式会社オリエントコーポレーション
東京都千代田区麹町五丁目2番地1

(72) 発明者 堀 康則

東京都千代田区麹町5丁目2番地1 株式
会社オリエントコーポレーション内

(72) 発明者 桑原 秀仁

東京都千代田区麹町5丁目2番地1 株式
会社オリエントコーポレーション内

(74) 代理人 100081961

弁理士 木内 光春

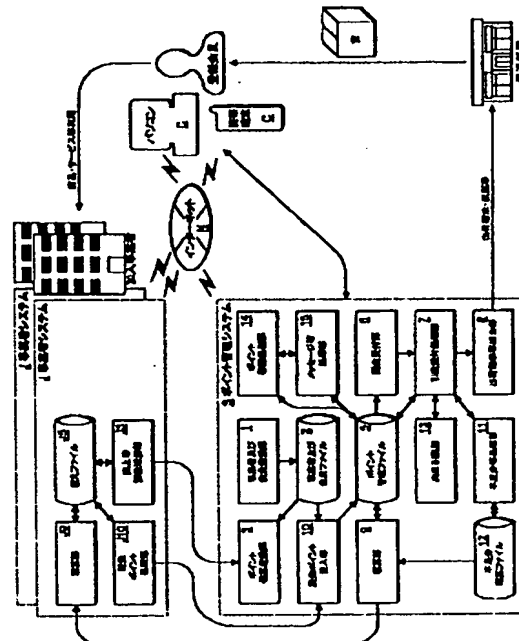
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ポイント処理システム及び方法、ポイント処理用ソフトウェア並びにクライアントシステムの制御方法

(57) 【要約】

【課題】 ポイントの行使を多様化することで優れた販促効果を実現する。

【解決手段】 ポイント換算登録部3は、加入事業者の用いる事業者システムJからインターネットN経由で、会員に関する取引又は付与ポイント数の少なくともいずれかの情報を受信し、その情報に基づいて所定の標準ポイントを会員に付与する。標準ポイントに関する残高等の情報は、ポイント管理ファイル5に記録される。照会受付部6は、会員端末Cに対しインターネットN経由で、標準ポイントに関し残高を含む情報の照会に応じる。また、引換受付処理部7は、インターネットN経由で、会員端末Cへ賞の候補を表示したり、会員端末Cから前記標準ポイントについて賞との引換要求を受け付ける。出荷指示等出力部8は、引換受付処理部7が前記引換要求を受け付けた場合に、その引換のための所定の情報を所定の出力先へ出力する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 加入事業者及びその会員を登録する手段と、

前記加入事業者の用いるコンピュータシステムから通信ネットワーク経由で、前記会員に関する取引又は付与ポイント数の少なくともいずれかの情報を受信した場合に、その情報に基づいて所定の標準ポイントを前記会員に付与する手段と、

前記会員の用いるクライアントシステムに対し通信ネットワーク経由で、前記標準ポイントに関し残高を含む情報の照会に応じる手段と、

前記会員の用いるクライアントシステムから通信ネットワーク経由で、前記標準ポイントについて賞との引換要求を受け付ける手段と、

前記引換要求を受け付けた場合に、その引換のための所定の情報を出力する手段と、

前記加入事業者の用いるコンピュータシステムに対し前記通信ネットワーク経由で、前記引換について精算のための情報を提供する手段と、

を備えたことを特徴とするポイント処理システム。

【請求項2】 前記加入事業者の用いるコンピュータシステム又はその会員の用いるクライアントシステムから通信ネットワーク経由で、その加入事業者独自の発行済特典ポイントに関する交換要求を受信した場合に、その交換要求に係る前記特典ポイントを所定の換算ルールにより前記標準ポイントに変換する手段を備えたことを特徴とする請求項1記載のポイント処理システム。

【請求項3】 前記会員の用いるクライアントシステムに対し前記通信ネットワーク経由で、その会員の前記標準ポイントの残高を超える所要ポイントの賞について不足分相当金額を計算して表示させ、

前記金額の決済を条件として、その賞への引換要求を受け付けることを特徴とする請求項1又は2記載のポイント処理システム。

【請求項4】 その会員の前記標準ポイント残高が前記所要ポイントより低い所定の基準値に達した賞について、前記不足分相当金額を表示することを特徴とする請求項3記載のポイント処理システム。

【請求項5】 前記会員の用いるクライアントシステムに対し通信ネットワーク経由で、賞について、各時点における引換要求数と、引換要求数の増加により所要ポイントが引き下げられる条件を提示するとともに、引換要求を募集する手段を備えたことを特徴とする請求項1から4のいずれかに記載のポイント処理システム。

【請求項6】 前記会員の用いるクライアントシステムから前記通信ネットワーク経由で、その会員のポイント残高中の数量と、いずれかの加入事業者の会員のなかから指定される移動先の会員と、が通知された場合に、指定された数量の標準ポイントを、指定された移動先の会員へ移動させる手段を備えたことを特徴とする請求項1

から5のいずれかに記載のポイント処理システム。

【請求項7】 前記会員の用いるクライアントシステム及び通信ネットワーク経由で、移動元の前記会員からメッセージを預かり、そのメッセージを移動先の前記会員へ伝達する手段と、

移動先の会員に移動を受け入れるか否かを選択させる手段と、

移動が受け入れられたか否かを移動元の会員へ通知する手段と、

を備えたことを特徴とする請求項6記載のポイント処理システム。

【請求項8】 加入事業者及びその会員を登録する処理と、

前記加入事業者の用いるコンピュータシステムから通信ネットワーク経由で、前記会員に関する取引又は付与ポイント数の少なくともいずれかの情報を受信した場合に、その情報に基づいて所定の標準ポイントを前記会員に付与する処理と、

前記会員の用いるクライアントシステムに対し通信ネットワーク経由で、前記標準ポイントに関し残高を含む情報の照会に応じる処理と、

前記会員の用いるクライアントシステムから通信ネットワーク経由で、前記標準ポイントについて賞との引換要求を受け付ける処理と、

前記引換要求を受け付けた場合に、その引換のための所定の情報を所定の出力先に出力する処理と、

前記加入事業者の用いるコンピュータシステムに対し通信ネットワーク経由で、前記引換について精算のための情報を提供する処理と、

を含むことを特徴とするポイント処理方法。

【請求項9】 前記加入事業者の用いるコンピュータシステム又はその会員の用いるクライアントシステムから通信ネットワーク経由で、その加入事業者独自の発行済特典ポイントに関する交換要求を受信した場合に、その交換要求に係る前記特典ポイントを所定の換算ルールにより前記標準ポイントに変換する処理を含むことを特徴とする請求項8記載のポイント処理方法。

【請求項10】 前記会員の用いるクライアントシステムに対し前記通信ネットワーク経由で、その会員の前記標準ポイントの残高を超える所要ポイントの賞について不足分相当金額を計算して表示させ、

前記金額の決済を条件として、その賞への引換要求を受け付けることを特徴とする請求項8又は9記載のポイント処理方法。

【請求項11】 その会員の前記標準ポイント残高が前記所要ポイントより低い所定の基準値に達した賞について、前記不足分相当金額を表示することを特徴とする請求項10記載のポイント処理方法。

【請求項12】 前記会員の用いるクライアントシステムに対し通信ネットワーク経由で、賞について、各時点

における引換要求数と、引換要求数の増加により所要ポイントが引き下げられる条件を提示するとともに、引換要求を募集することを特徴とする請求項8から11のいずれかに記載のポイント処理方法。

【請求項13】 前記会員の用いるクライアントシステムから前記通信ネットワーク経由で、その会員のポイント残高中の数量と、いずれかの加入事業者の会員のなかから指定される移動先の会員と、が通知された場合に、指定された数量の標準ポイントを、指定された移動先の会員へ移動させる処理を含むことを特徴とする請求項8から12のいずれかに記載のポイント処理方法。

【請求項14】 前記会員の用いるクライアントシステム及び通信ネットワーク経由で、移動元の前記会員からメッセージを預かり、そのメッセージを移動先の前記会員へ伝達する処理と、

移動先の会員に移動を受け入れるか否かを選択させる処理と、

移動が受け入れられたか否かを移動元の会員へ通知する処理と、

を含むことを特徴とする請求項13記載のポイント処理方法。

【請求項15】 コンピュータであるサーバシステムを制御することにより、

加入事業者及びその会員を登録させ、

前記加入事業者の用いるコンピュータシステムから通信ネットワーク経由で、前記会員に関する取引又は付与ポイント数の少なくともいずれかの情報を受信した場合に、その情報に基づいて所定の標準ポイントを前記会員に付与させ、

前記会員の用いるクライアントシステムに対し通信ネットワーク経由で、前記標準ポイントに関し残高を含む情報の照会に応じさせ、

前記会員の用いるクライアントシステムから通信ネットワーク経由で、前記標準ポイントについて賞との引換要求を受け付けさせ、

前記引換要求を受け付けた場合に、その引換のための所定の情報を所定の出力先に出力させ、

前記加入事業者の用いるコンピュータシステムに対し通信ネットワーク経由で、前記引換について精算のための情報を提供させることを特徴とするポイント処理用ソフトウェア。

【請求項16】 前記サーバシステムに、

前記加入事業者の用いるコンピュータシステム又はその会員の用いるクライアントシステムから通信ネットワーク経由で、その加入事業者独自の発行済特典ポイントに関する変換要求を受信した場合に、その変換要求に係る前記特典ポイントを所定の換算ルールにより前記標準ポイントに変換させることを特徴とする請求項15記載のポイント処理用ソフトウェア。

【請求項17】 前記サーバシステムに、

前記会員の用いるクライアントシステムに対し前記通信ネットワーク経由で、その会員の前記標準ポイントの残高を超える所要ポイントの賞について不足分相当金額を計算して表示させ、

前記金額の決済を条件として、その賞への引換要求を受け付けさせることを特徴とする請求項15又は16記載のポイント処理用ソフトウェア。

【請求項18】 前記サーバシステムに、

前記会員の用いるクライアントシステムに対し通信ネットワーク経由で、賞について、各時点における引換要求数と、引換要求数の増加により所要ポイントが引き下げられる条件を提示させるとともに、引換要求を募集させることを特徴とする請求項15から17のいずれかに記載のポイント処理用ソフトウェア。

【請求項19】 前記サーバシステムに、

前記会員の用いるクライアントシステムから前記通信ネットワーク経由で、その会員のポイント残高中の数量と、いずれかの加入事業者の会員のなかから指定される移動先の会員と、が通知された場合に、指定された数量の標準ポイントを、指定された移動先の会員へ移動させることを特徴とする請求項15から18のいずれかに記載のポイント処理用ソフトウェア。

【請求項20】 複数の加入事業者をそれぞれ利用することでそれぞれ発生する共通の特典ポイントである標準ポイントについて会員から賞との引換要求を送信させるための、クライアントシステムの制御方法において、その会員の前記標準ポイントの残高を超える所要ポイントの賞について不足分相当金額を計算して表示させ、前記金額の決済を条件として、その賞への引換要求を受け付けさせるための一又は二以上の画面を、前記クライアントシステムに対し通信ネットワーク経由で表示させることを特徴とするクライアントシステムの制御方法。

【請求項21】 複数の加入事業者をそれぞれ利用することでそれぞれ発生する共通の特典ポイントである標準ポイントについて会員から賞との引換要求を送信させるための、クライアントシステムの制御方法において、賞について、各時点における引換要求数と、引換要求数の増加により所要ポイントが引き下げられる条件を提示するとともに、引換要求を募集するための一又は二以上の画面を、前記クライアントシステムに対し通信ネットワーク経由で表示させることを特徴とするクライアントシステムの制御方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、特典ポイントに関する情報処理技術の改良に関するもので、ポイントの行使を多様化することで優れた販促効果を実現するようにしたものである。

【0002】

【従来の技術】近年、経済の高度大規模化、競争激化に

に伴い、販売促進のため各種の特典ポイント制度が運用されている。特典ポイント制度は、企業や団体などの事業者ごとに、商品やサービスの利用に応じたポイントを顧客に付与し、所定のポイントが蓄積されると景品・サービスなど所定の賞との引換に応じるものである。その例として、信販会社がクレジットカード利用者に利用額に応じ与えるポイント、航空会社等のマイレージ・プログラムなどがある。これら特典ポイント制度は、過度の価格競争の回避、ポイント蓄積による景品獲得を動機付けとした継続利用促進などの効果を持つ。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来では、ポイント制度やそのポイントについては、発行主体・形態などが多様で、発行主体であるさまざまな企業、団体等の事業者ごとに相互に別個独立に運営・発行・管理されていたため、ポイントの互換性・流通性に欠け、販促効果が乏しい問題があった。特に、一人の顧客が少量ずつのポイントを別々のポイント制度に分散保有している場合、積算すればまとまったポイントとなる場合でも、個別には欲しい賞の所要ポイントに足りない、というようなケースが多かった。

【0004】この点について、インターネット上で異なった事業者のポイントを交換するサービスは提案されているが、この種の従来技術は、特定のポイントへの集約を可能とするもので、景品引換などポイントの行使については従来通り、各事業者が独自に定める賞及び固定的な所要ポイント数に制約される限界があった。

【0005】本発明は、上記のような従来技術の問題点を解決するために提案されたもので、その目的は、ポイントの行使を多様化することで優れた販促効果を実現するポイント処理システム及び方法、ポイント処理用ソフトウェア並びにクライアントシステムの制御方法を提供することである。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するため、請求項1のポイント処理システムは、加入事業者及びその会員を登録する手段と、前記加入事業者の用いるコンピュータシステムから通信ネットワーク経由で、前記会員に関する取引又は付与ポイント数の少なくともいずれかの情報を受信した場合に、その情報に基づいて所定の標準ポイントを前記会員に付与する手段と、前記会員の用いるクライアントシステムに対し通信ネットワーク経由で、前記標準ポイントに関し残高を含む情報の照会に応じる手段と、前記会員の用いるクライアントシステムから通信ネットワーク経由で、前記標準ポイントについて賞との引換要求を受け付ける手段と、前記引換要求を受け付けた場合に、その引換のための所定の情報を出力する手段と、前記加入事業者の用いるコンピュータシステムに対し前記通信ネットワーク経由で、前記引換について精算のための情報を提供する手段と、を備えた

ことを特徴とする。

【0007】請求項8のポイント処理方法は、請求項1の発明を方法という見方から捉えたもので、加入事業者及びその会員を登録する処理と、前記加入事業者の用いるコンピュータシステムから通信ネットワーク経由で、前記会員に関する取引又は付与ポイント数の少なくともいずれかの情報を受信した場合に、その情報に基づいて所定の標準ポイントを前記会員に付与する処理と、前記会員の用いるクライアントシステムに対し通信ネットワーク経由で、前記標準ポイントに関し残高を含む情報の照会に応じる処理と、前記会員の用いるクライアントシステムから通信ネットワーク経由で、前記標準ポイントについて賞との引換要求を受け付ける処理と、前記引換要求を受け付けた場合に、その引換のための所定の情報を所定の出力先に出力する処理と、前記加入事業者の用いるコンピュータシステムに対し通信ネットワーク経由で、前記引換について精算のための情報を提供する処理と、を含むことを特徴とする。

【0008】請求項15のポイント処理用ソフトウェアは、請求項1、8の発明を、コンピュータソフトウェアという見方から捉えたもので、コンピュータであるサーバシステムを制御することにより、加入事業者及びその会員を登録させ、前記加入事業者の用いるコンピュータシステムから通信ネットワーク経由で、前記会員に関する取引又は付与ポイント数の少なくともいずれかの情報を受信した場合に、その情報に基づいて所定の標準ポイントを前記会員に付与させ、前記会員の用いるクライアントシステムに対し通信ネットワーク経由で、前記標準ポイントに関し残高を含む情報の照会に応じさせ、前記会員の用いるクライアントシステムから通信ネットワーク経由で、前記標準ポイントについて賞との引換要求を受け付けさせ、前記引換要求を受け付けた場合に、その引換のための所定の情報を所定の出力先に出力させ、前記加入事業者の用いるコンピュータシステムに対し通信ネットワーク経由で、前記引換について精算のための情報を提供させることを特徴とする。

【0009】これらの態様では、複数の加入事業者の特典を、所定の標準ポイントとして集約的に発行・管理することで、特典ポイントの集約により顧客本来の特典が無駄なく享受されるだけでなく、ポイントの行使が特定事業者の制度に依存せず多様化可能となり優れた販促効果が実現される。また、インターネットに代表される通信ネットワーク上において共通に利用可能な標準ポイントは、特典ポイントの流通性を高めて利便性と顧客満足度を向上させる。さらに、企業、団体などポイント発行主体にとっては、従来個別に行っていたポイントの精算、賞の企画・納品・発送等をネット上のシステムに代行センターのように一括してアウトソーシングすることで事務負担を軽減できる。

【0010】請求項2の発明は、請求項1記載のポイン

ト処理システムにおいて、前記加入事業者の用いるコンピュータシステム又はその会員の用いるクライアントシステムから通信ネットワーク経由で、その加入事業者独自の発行済特典ポイントに関する交換要求を受信した場合に、その交換要求に係る前記特典ポイントを所定の換算ルールにより前記標準ポイントに変換する手段を備えたことを特徴とする。

【0011】請求項9の発明は、請求項2の発明を方法という見方から捉えたもので、請求項8記載のポイント処理方法において、前記加入事業者の用いるコンピュータシステム又はその会員の用いるクライアントシステムから通信ネットワーク経由で、その加入事業者独自の発行済特典ポイントに関する交換要求を受信した場合に、その交換要求に係る前記特典ポイントを所定の換算ルールにより前記標準ポイントに変換する処理を含むことを特徴とする。

【0012】請求項16の発明は、請求項2、9の発明をコンピュータソフトウェアという見方から捉えたもので、請求項15記載のポイント処理用ソフトウェアにおいて、前記サーバシステムに、前記加入事業者の用いるコンピュータシステム又はその会員の用いるクライアントシステムから通信ネットワーク経由で、その加入事業者独自の発行済特典ポイントに関する交換要求を受信した場合に、その交換要求に係る前記特典ポイントを所定の換算ルールにより前記標準ポイントに変換させることを特徴とする。

【0013】これらの態様では、加入事業者が既に独自のポイントシステムやその特典ポイントを用いている場合でも、所定の換算ルールに基づくポイントの換算やそれに基く買取り、積算、精算などの処理により、本発明について参加や移行が容易となり、標準ポイントの適用範囲と流通性が拡大する。

【0014】請求項3の発明は、請求項1又は2記載のポイント処理システムにおいて、前記会員の用いるクライアントシステムに対し前記通信ネットワーク経由で、その会員の前記標準ポイントの残高を超える所要ポイントの賞について不足分相当金額を計算して表示させ、前記金額の決済を条件として、その賞への引換要求を受け付けることを特徴とする。

【0015】請求項10の発明は、請求項3の発明を方法という見方から捉えたもので、請求項8又は9記載のポイント処理方法において、前記会員の用いるクライアントシステムに対し前記通信ネットワーク経由で、その会員の前記標準ポイントの残高を超える所要ポイントの賞について不足分相当金額を計算して表示させ、前記金額の決済を条件として、その賞への引換要求を受け付けることを特徴とする。

【0016】請求項17の発明は、請求項3、10の発明をコンピュータソフトウェアという見方から捉えたもので、請求項15又は16記載のポイント処理用ソフト

ウェアにおいて、前記サーバシステムに、前記会員の用いるクライアントシステムに対し前記通信ネットワーク経由で、その会員の前記標準ポイントの残高を超える所要ポイントの賞について不足分相当金額を計算して表示させ、前記金額の決済を条件として、その賞への引換要求を受け付けさせることを特徴とする。

【0017】請求項20の発明は、請求項3、10、17の発明をクライアントシステム側における処理という見方から捉えたもので、複数の加入事業者をそれぞれ利用することでそれぞれ発生する共通の特典ポイントである標準ポイントについて会員から賞との引換要求を送信させるための、クライアントシステムの制御方法において、その会員の前記標準ポイントの残高を超える所要ポイントの賞について不足分相当金額を計算して表示させ、前記金額の決済を条件として、その賞への引換要求を受け付けさせるための一又は二以上の画面を、前記クライアントシステムに対し通信ネットワーク経由で表示させることを特徴とする。

【0018】これらの態様では、ポイント残高が希望の賞品に足りない場合でも、提示される不足金額をクレジットカードなどで決済することにより賞の獲得が可能になる。これにより、特典が無駄なく活用され、利用者のポイント獲得意欲が向上し、賞品を商品と捉えた場合の販売促進も図られる。

【0019】請求項4の発明は、請求項3記載のポイント処理システムにおいて、その会員の前記標準ポイント残高が前記所要ポイントより低い所定の基準値に達した賞について、前記不足分相当金額を表示することを特徴とする。

【0020】請求項11の発明は、請求項4の発明を方法という見方から捉えたもので、請求項10記載のポイント処理方法において、その会員の前記標準ポイント残高が前記所要ポイントより低い所定の基準値に達した賞について、前記不足分相当金額を表示することを特徴とする。

【0021】これらの態様では、所要ポイントの半分以上など所定の基準値に達した賞について不足分相当金額を表示することにより、ポイントと賞の引換が単なる購入とは明確に区別され、ポイントをもたらず加入事業者の商品やサービスについて利用促進が確保される。

【0022】請求項5の発明は、請求項1から4のいずれかに記載のポイント処理システムにおいて、会員の用いるクライアントシステムに対し通信ネットワーク経由で、賞について、各時点における引換要求数と、引換要求数の増加により所要ポイントが引き下げられる条件を提示するとともに、引換要求を募集する手段を備えたことを特徴とする。

【0023】請求項12の発明は、請求項5の発明を方法という見方から捉えたもので、請求項8から11のいずれかに記載のポイント処理方法において、会員の用い

るクライアントシステムに対し通信ネットワーク経由で、賞について、各時点における引換要求数と、引換要求数の増加により所要ポイントが引き下げられる条件を提示するとともに、引換要求を募集することを特徴とする。

【0024】請求項18の発明は、請求項5、12の発明をコンピュータソフトウェアという見方から捉えたもので、請求項15から17のいずれかに記載のポイント処理用ソフトウェアにおいて、前記サーバシステムに、会員の用いるクライアントシステムに対し通信ネットワーク経由で、賞について、各時点における引換要求数と、引換要求数の増加により所要ポイントが引き下げられる条件を提示させるとともに、引換要求を募集させることを特徴とする。

【0025】請求項21の発明は、請求項5、12、18の発明をクライアントシステム側における処理という見方から捉えたもので、複数の加入事業者をそれぞれ利用することでそれぞれ発生する共通の特典ポイントである標準ポイントについて会員から賞との引換要求を送信させるための、クライアントシステムの制御方法において、賞について、各時点における引換要求数と、引換要求数の増加により所要ポイントが引き下げられる条件を提示するとともに、引換要求を募集するための一又は二以上の画面を、前記クライアントシステムに対し通信ネットワーク経由で表示させることを特徴とする。

【0026】これらの態様では、共同購入に準じ、同じ賞との引換要求が増えると所要ポイントを引き下げることにより、スケールメリットを生かした共同引換による費用低減効果が生かされる。また、利用者間にも連帯感や達成感が醸成されるので、加入事業者や標準ポイントの利用促進効果が得られる。

【0027】請求項6の発明は、請求項1から5のいずれかに記載のポイント処理システムにおいて、前記会員の用いるクライアントシステムから前記通信ネットワーク経由で、その会員のポイント残高中の数量と、いずれかの加入事業者の会員のなかから指定される移動先の会員と、が通知された場合に、指定された数量の標準ポイントを、指定された移動先の会員へ移動させる手段を備えたことを特徴とする。

【0028】請求項13の発明は、請求項6の発明を方法という見方から捉えたもので、請求項8から12のいずれかに記載のポイント処理方法において、前記会員の用いるクライアントシステムから前記通信ネットワーク経由で、その会員のポイント残高中の数量と、いずれかの加入事業者の会員のなかから指定される移動先の会員と、が通知された場合に、指定された数量の標準ポイントを、指定された移動先の会員へ移動させる処理を含むことを特徴とする。

【0029】請求項19の発明は、請求項6、13の発明をコンピュータソフトウェアという見方から捉えたも

ので、請求項15から18のいずれかに記載のポイント処理用ソフトウェアにおいて、前記サーバシステムに、前記会員の用いるクライアントシステムから前記通信ネットワーク経由で、その会員のポイント残高中の数量と、いずれかの加入事業者の会員のなかから指定される移動先の会員と、が通知された場合に、指定された数量の標準ポイントを、指定された移動先の会員へ移動させることを特徴とする。

【0030】これらの態様では、ポイントを銀行送金のように所望の利用者へ移動させることにより、飲食代金等の頭割り、インターネットオークションの落札代金など個人間の精算に応用することが可能となる。

【0031】請求項7の発明は、請求項6記載のポイント処理システムにおいて、会員の用いるクライアントシステム及び通信ネットワーク経由で、移動元の前記会員からメッセージを預かり、そのメッセージを移動先の前記会員へ伝達する手段と、移動先の会員に移動を受け入れるか否かを選択させる手段と、移動が受け入れられたか否かを移動元の会員へ通知する手段と、を備えたことを特徴とする。

【0032】請求項14の発明は、請求項7の発明を方法という見方から捉えたもので、請求項13記載のポイント処理方法において、会員の用いるクライアントシステム及び通信ネットワーク経由で、移動元の前記会員からメッセージを預かり、そのメッセージを移動先の前記会員へ伝達する処理と、移動先の会員に移動を受け入れるか否かを選択させる処理と、移動が受け入れられたか否かを移動元の会員へ通知する処理と、を含むことを特徴とする。

【0033】これらの態様では、移動元からのメッセージを移動先へ伝えることにより移動先は移動の趣旨をその場で容易に知ることができ、また、受け入れるか否かを移動先側に選択させることで移動先の意思を尊重するだけでなく、受け入れられたか否かを移動元へ知らせるので移動元の確認の便宜も図られる。このように、移動元と移動先の双方の都合を尊重することにより、使い勝手の優れた標準ポイントの移動が実現される。

【0034】

【発明の実施の形態】次に、本発明の実施の形態（以下「実施形態」と呼ぶ）について、添付の図面を参照して具体的に説明する。なお、本実施形態はコンピュータをソフトウェアで制御することにより実現できるが、この場合のハードウェアやソフトウェアの具体的な構成様様は各種考えられるので、以下、本発明及び本実施形態について、これらを構成する各機能を実現する仮想的回路ブロックを用いて説明する。

【0035】〔1. 構成〕本実施形態は、図1に示すポイント処理システムSであり、通信ネットワークであるインターネットNを通じ、各加入事業者がそれぞれ用いるコンピュータシステム（以下「事業者システム」と呼

ぶ) Jや、前記加入事業者の各会員の用いるクライアントシステム(以下「会員端末」と呼ぶ) Cと通信することにより、特典ポイントに関する情報処理を各加入事業者者に代わって代行するサーバシステムである。なお、会員端末Cは、インターネット接続機能付の携帯電話やPHSの端末装置やPDA(いわゆる携帯端末)、パーソナルコンピュータ(パソコン)、ワークステーションなどである。

【0036】このポイント処理システムは、図1の機能ブロック図に示すように、下記の各部分を備える。まず、事業者及び会員登録部1は、事業者及び会員ファイル2に、加入事業者及びその会員を登録する手段である。また、ポイント換算登録部3は、事業者システムJからインターネットN経由で、前記会員に関する取引又は付与ポイント数の少なくともいずれかの情報を受信し、そのような情報を受信した場合に、その情報に基づいて所定の標準ポイントを前記会員に付与する手段である。このような標準ポイントに関する残高等の情報は、ポイント管理ファイル5に記録される。

【0037】また、照会受付部6は、会員端末Cに対しインターネットN経由で、前記標準ポイントに関し残高を含む情報の照会に応じる手段である。また、引換受付処理部7は、インターネットN経由で、会員端末Cへ賞の候補を表示したり、会員端末Cから前記標準ポイントについて賞との引換要求を受け付ける手段である。

【0038】また、出荷指示等出力部8は、引換受付処理部7が前記引換要求を受け付けた場合に、その引換のための所定の情報を、発送部門のプリンタなど所定の出力先へ出力する手段である。また、精算部9は、事業者システムJに対しインターネットN経由で、前記引換について精算のための情報を提供する手段である。

【0039】また、既発ポイント受入部10は、事業者システムJ又は会員端末CからインターネットN経由で、その加入事業者独自の発行済特典ポイントに関する変換要求を受信し、そのような変換要求を受信した場合に、その変換要求に係る前記特典ポイントを所定の換算ルールにより前記標準ポイントに変換する手段である。

【0040】また、不足分等処理部11は、引換受付処理部7を通じ、会員端末Cに対しインターネットN経由で、その会員の前記標準ポイントの残高を超える所要ポイントの賞について不足分相当金額を計算して表示させ、その金額の決済を条件として、その賞への引換要求を受け付ける手段である。また、不足分等処理部11は、その会員の前記標準ポイント残高が前記所要ポイントより低い所定の基準値に達した賞について、前記不足分相当金額を表示するように構成されている。なお、クレジットカード等による不足分の精算に関する情報は不足分精算ファイル12に記録される。

【0041】また、共同引換部13は、会員端末Cに対しインターネットN経由で、賞について、各時点にお

る引換要求数と、引換要求数の増加により所要ポイントが引き下げられる条件を提示するとともに、引換要求を募集する手段である。

【0042】また、ポイント移動処理部14は、会員端末CからインターネットN経由で、その会員のポイント残高中の数量と、いずれかの加入事業者の会員のなかから指定される移動先の会員と、の指定を受け付け、指定された数量の標準ポイントを、指定された移動先の会員へ移動させる手段である。また、メッセージ等処理部15は、会員端末C及びインターネットN経由で、移動元の前記会員からメッセージを預かり、そのメッセージを移動先の前記会員へ伝達する手段であり、また、移動先の会員に移動を受け入れる可否かを選択させる手段であり、移動が受け取られた可否かを移動元の会員へ通知する手段である。

【0043】また、各加入事業者ごとの事業者システムJの構成は自由であるが、次に例示するような要素を備えることが考えられる。すなわち、売上等情報送信部J3は、インターネットN経由で、会員に関する取引又は付与ポイント数の少なくともいずれかの情報をポイント処理システムSのポイント換算登録部3へ送信する部分である。また、既発ポイント処理部J10は、インターネットN経由で、その加入事業者独自の発行済特典ポイントに関する変換要求を、ポイント処理システムSの既発ポイント受入部10へ送信する部分である。

【0044】また、控えファイルJ5は、売上等情報送信部J3又は既発ポイント処理部J10からポイント処理システムへ、新規又は既発のポイントについてどのような情報を送信したかを格納する手段である。また、精算部J9は、ポイント処理システムSの精算部9からインターネットN経由で、賞と引換された標準ポイントについて精算のための情報を受信する手段である。

【0045】〔2. 作用〕上記のように構成された本実施形態は、次のように作用する。

【0046】〔2-1. 事業者及び会員の登録〕本実施形態において、標準ポイントを利用する事業者及び会員については、あらかじめ事業者及び会員登録部1により、事業者及び会員ファイル2に加入事業者及びその会員としての登録を受ける。ここで、加入事業者は、標準ポイントを自ら発行し又は標準ポイントの発行を委託する事業者である。また、登録された各会員ごとに、ログイン用のID、パスワード、標準ポイントの残高及び増減履歴が管理される。

【0047】〔2-2. 標準ポイントの加算〕会員に標準ポイントが加算される場合として、加入事業者の商品・サービス等の利用により新規に標準ポイントが加算される場合と、加入事業者から既発ポイントが移管される場合がある。

【0048】前者(新規)の場合、事業者システムJの売上等情報送信部J3が、インターネットN経由で、会

員に関する取引又は付与ポイント数の少なくともいずれかの情報をポイント処理システムSのポイント換算登録部3へ送信し、そのような情報を受信したポイント換算登録部3は、その情報に基づいて所定の標準ポイントを前記会員に付与する。このような標準ポイントに関する残高や増減履歴等の情報は、ポイント管理ファイル5に記録される。

【0049】また、後者（移管）の場合、その加入事業者独自の発行済特典ポイントに関する変換要求が、会員端末C又は事業者システムJの既発ポイント処理部J10からインターネットN経由で、ポイント処理システムSの既発ポイント受入部10へ送信される。この場合、そのような変換要求を受信した既発ポイント受入部10は、その変換要求に係る前記特典ポイントを、事業者ごとのレートなど所定の換算ルールにより前記標準ポイントに変換する。

【0050】上記のように、売上等情報送信部J3又は既発ポイント処理部J10からポイント処理システムへ、新規又は既発のポイントについて送信される電文を獲得電文と呼ぶこととする。すなわち、図2は本実施形態における処理手順の概略を示すフローチャートであり、ポイント処理システムSでは、図2に示すように、獲得電文の受信に対応し（ステップ01）、標準ポイントの加算処理が行われる（ステップ02）。なお、獲得電文でどのような情報を送信したかは、控えファイルJ5に格納され、後の確認に供される。

【0051】〔2-3. 照会と引換要求〕会員はポイント処理システムSによって提供される所定のウェブサイトへアクセスすることによって、標準ポイントについて照会及び賞との引換を行うことができる。すなわち、照会受付部6は、会員端末Cに対しインターネットN経由で、標準ポイントに関し残高や増減履歴といった情報の照会に応じる（ステップ03）。

【0052】この場合、顧客は、会員端末CからインターネットNを通して前記ウェブサイトへアクセスし、予め与えられたID及びパスワードの入力等によりログインし、ウェブブラウザにより自己の現在のポイント残高や増減履歴等を確認する。例えば、図3の例では、標準ポイントについて履歴が欄R1に、現在の残高が欄R2に表示され、処理をいずれかのボタンB1で選択可能である。

【0053】また、引換受付処理部7は、インターネットN経由で、会員端末Cへ賞の候補を表示したり、会員端末Cから前記標準ポイントについて賞との引換要求を受け付ける（ステップ04）。例えば、図4の画面例では、賞品ごとに所要ポイント数が欄R3に表示され、入力欄F1、F2及びボタンB2により賞との引換が受け付けられる。なお、賞との引換のみならず、その一態様、又は他の態様として、標準ポイントをインターネットのウェブサイトとして構築されるショッピングモール

におけるショッピングで使用可能としてもよい。

【0054】また、出荷指示等出力部8は、引換受付処理部7において引換要求が受け付けられ確定した場合（ステップ07）、その引換のための所定の情報として出荷指示やそのための伝票などを出力し（ステップ08）、これに基づき発送部門から（図1）賞品が速やかに発送される。

【0055】〔2-4. 不足分の精算〕なお、上記のような賞との引換において、本実施形態では、所要ポイントに対する不足分をクレジットカード等による支払いで補充することができる。この場合、不足分等処理部11は、会員端末Cに対しインターネットN経由で、その会員の前記標準ポイントの残高を超える所要ポイントの賞について不足分相当金額を計算し、引換受付処理部7を通じて図4の欄R4に示すように表示させ（ステップ04）、その金額の決済を条件として、その賞への引換要求を受け付ける。

【0056】また、不足分等処理部11は、その会員の前記標準ポイント残高が前記所要ポイントより低い所定の基準値に達した賞について、前記不足分相当金額を表示する。なお、クレジットカード等による不足分の精算に関する情報は不足分精算ファイル12に記録される。

【0057】〔2-5. 共同引換〕また、本実施形態では、同じ賞への共同引換者すなわち共同申込者をウェブサイト上で募ることにより、より少ないポイント数による賞との引換が実現される（ステップ05、06）。この場合、会員は、既存の募集案件に応募してもよいし、さらに、会員自ら他の共同引換者の募集を開始できるようにしてもよい。いずれの場合も、共同引換部13は、会員端末Cに対しインターネットN経由で、賞について、各時点における引換要求数と、引換要求数の増加により所要ポイントが引き下げられる条件を提示するとともに、引換要求を募集する。例えば、図5の例では表形式の行ごとに、賞と、現在の引換要求人数及び所要ポイント数と、次の値下げ条件としての人数及び所要ポイント数が表示され、応募ボタンB3で応募可能である。

【0058】〔2-6. ポイントの移動〕また、本実施形態では、標準ポイントを他の会員へ移動することができる。この場合、ポイント移動処理部14は、会員端末CからインターネットN経由で、その会員のポイント残高中の数量と、いずれかの加入事業者の会員のなかから指定される移動先の会員と、の指定を受け付け、これらにしたがい、指定された数量の標準ポイントを、指定された移動先の会員へ移動させる。

【0059】また、ポイントの移動の際、移動元の会員がメッセージを添付することができ、また移動先の会員は移動を受け入れるか否か選択でき、この選択結果は移動元の会員に通知される。すなわち、メッセージ等処理部15は、会員端末C及びインターネットN経由で、移動元の前記会員からメッセージを預かり、そのメッセー

ジを移動先の前記会員へ伝達し、また、移動先の会員に移動を受け入れるか否かを選択させ、移動を受け入れられたか否かを移動元の会員へ通知する。

【0060】例えば、図6の例は、移動に係るポイント数を入力欄F3、移動先の会員を入力欄F4、添付メッセージを記入欄F5でそれぞれ指定し、ボタンB4で移動を実行させるものである。

【0061】〔2-7. 精算〕また、以上のように賞と引換されたり他の会員へ移動されることによって処分された標準ポイントについては、ポイント処理システムSの精算部9から、精算のための情報が、インターネットN経由で事業者システムJの精算部J9へ送信され、加入事業者とポイント処理システムの運営者との間で精算される(ステップ09)。このような情報の電文を利用電文と呼ぶこととする。

【0062】なお、前記獲得電文やこの利用電文はリアルタイムで交換されるが、これらのデータフォーマットを構成する情報項目の例としては、電文ヘッダー、会社ID、会員ID、などの共通要素の他、獲得電文にあっては、獲得年月日時間、獲得ポイント数、有効期限などが考えられ、利用電文にあっては、利用年月日時間、利用ポイント数などが考えられる。

【0063】また、精算のための情報について具体的内容は自由であるが、例えば、引換にあたりクレジットカード等で決済された不足分に関する情報を不足分精算ファイル12から読み出して含めるなども考えられる。

【0064】〔3. 効果〕以上のように、本実施形態では、複数の加入事業者の特典を、所定の標準ポイントとして集中的に発行・管理することで、特典ポイントの集約により顧客本来の特典が無駄なく享受されるだけでなく、ポイントの行使が特定事業者の制度に依存せず多様化可能となり優れた販促効果が実現される。また、インターネットに代表される通信ネットワーク上において共通に利用可能な標準ポイントは、特典ポイントの流通性を高めて利便性と顧客満足度を向上させる。さらに、企業、団体などポイント発行主体にとっては、従来個別に行っていたポイントの精算、賞の企画・納品・発送等をネット上のシステムに代行センターのように一括してアウトソーシングすることで事務負担を軽減できる。

【0065】また、本実施形態では、加入事業者が既に独自のポイントシステムやその特典ポイントを用いている場合でも、所定の換算ルールに基づくポイントの換算やそれに基く買取り、積算、精算などの処理により、本発明について参加や移行が容易となり、標準ポイントの適用範囲と流通性が拡大する。

【0066】また、本実施形態では、ポイント残高が希望の賞品に足りない場合でも、提示される不足金額をクレジットカードなどで決済することにより賞の獲得が可能になる。これにより、特典が無駄なく活用され、利用者のポイント獲得意欲が向上し、賞品を商品と捉えた場

合の販売促進も図られる。

【0067】また、本実施形態では、所要ポイントの半分以上など所定の基準値に達した賞について不足分相当金額を表示することにより、ポイントと賞の引換が単なる購入とは明確に区別され、ポイントをもたらず加入事業者の商品やサービスについて利用促進が確保される。

【0068】また、本実施形態では、共同購入に準じ、同じ賞との引換要求が増えると所要ポイントを引き下げることで、スケールメリットを生かした共同引換による費用低減効果が生かされる。また、利用者間にも連帯感や達成感が醸成されるので、加入事業者や標準ポイントの利用促進効果が得られる。

【0069】また、本実施形態では、ポイントを銀行送金のように所望の利用者へ移動させることにより、飲食代金等の頭割り、インターネットオークションの落札代金など個人間の精算に応用することが可能となる。

【0070】また、本実施形態では、移動元からのメッセージを移動先へ伝えることにより移動先は移動の趣旨をその場で容易に知ることができ、また、受け入れるか否か移動先側に選択させることで移動先の意思を尊重するだけでなく、受け入れられたか否かを移動元へ知らせるので移動元の確認の便宜も図られる。このように、移動元と移動先の双方の都合を尊重することにより、使い勝手の優れた標準ポイントの移動が実現される。

【0071】〔4. 他の実施形態〕なお、本発明は上記実施形態に限定されるものではなく、次に例示するような他の実施形態も含むものである。例えば、標準ポイントについて、名称や単位、他のポイントや不足分相当額との換算基準、照会に応じる内容、引換要求や交換要求の手順などは自由である。

【0072】

【発明の効果】以上のように、本発明によれば、ポイントの行使を多様化することで優れた販促効果を実現するポイント処理システム及び方法、ポイント処理用ソフトウェア並びにクライアントシステムの制御方法を提供することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施形態の構成を示す機能ブロック図。

【図2】本発明の実施形態における処理手順の一例を示すフローチャート。

【図3】本発明の実施形態において、ポイントを照会する画面表示例を示す図。

【図4】本発明の実施形態において、賞を選択する画面表示例を示す図。

【図5】本発明の実施形態において、共同引換に関する画面表示例を示す図。

【図6】本発明の実施形態において、ポイント移動に関する画面表示例を示す図。

【符号の説明】

(10)

特開2003-44734

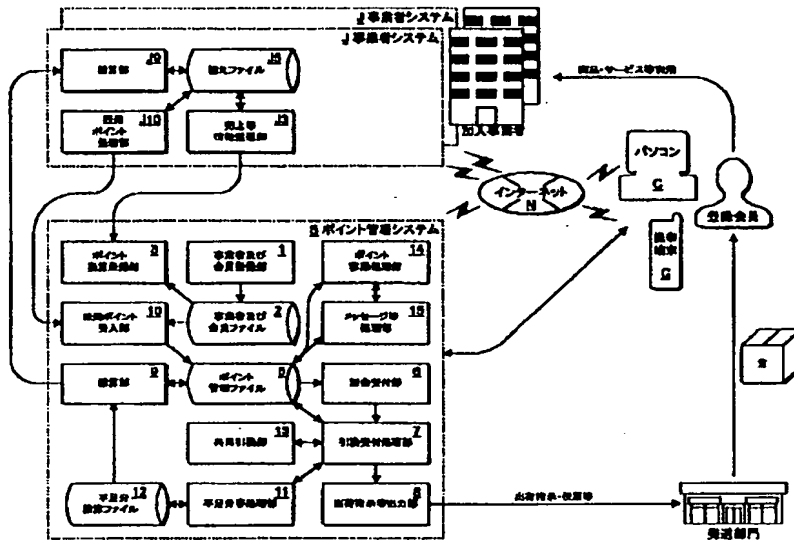
17

18

S…ポイント処理システム
 1…事業者及び会員登録部
 2…事業者及び会員ファイル
 3…ポイント換算登録部
 5…ポイント管理ファイル
 6…照会受付部
 7…引換受付処理部
 8…出荷指示等出力部
 9…精算部
 10…既発ポイント受入部
 11…不足分等処理部

* 12…不足分精算ファイル
 13…共同引換部
 14…ポイント移動処理部
 15…メッセージ等処理部
 J…事業者システム
 J3…売上等情報送信部
 J5…控えファイル
 J9…精算部
 J10…既発ポイント処理部
 10 C…会員端末
 * N…インターネット

【図1】



【図4】

買の選択

会員番号 0123456 お名前 OO OO 様

合計ポイント数 100,000

No.	商品名等	ポイント数	不足金額
1	○○プリペイドカード	1000	0
2	○○ギフトカード	3000	0
3	○○食器セット	8000	0
4	国内ホテル一泊二泊(ツイン)	35000	0
5	国内温泉旅行(ペア)	80000	0
6	○○社マウンテンバイク	98,000	0
7	ハワイ旅行(ペア)	128,000	28,000
8			
9			

買の番号 2 数量 1 買と引換

F1 F3 B3

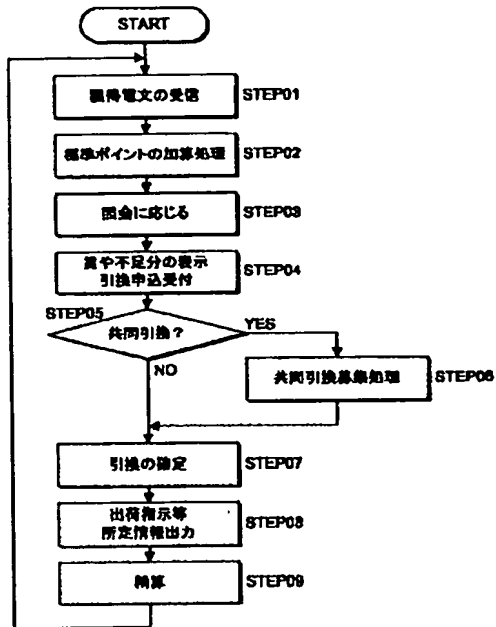
【図5】

現在実施中の共同引換一覧

買 引換銘柄・名称	現在の条件 入替 ポイント数	おと ポイント数	次の買付条件 入替 ポイント数	期切	注意事項
07002 クラック	100人 10000	50人 200人 10000	7/12	07002 クラック	
08003 旅行券	50人 5000	10人 20人 5000	7/15	08003 旅行券	
09004 旅行券	10人 5000	5人 10人 5000	8/1	09004 旅行券	
10005 旅行券	10人 5000	5人 10人 5000	8/15	10005 旅行券	

B3

【図2】



【図3】

ポイント取会

会員番号 0123456 お名前 OO OO 様

No.	商品名称	標準ポイント数
1	△△カード	1000
2	△△カード	1200
3	〇〇スーパー商店	3000
4		
5		
6		
7		
8		
9		

合計ポイント数 5200

どうするか
選んでください。

【図6】

ポイント移動

会員番号 01234567 お名前 OO OO 様

合計ポイント数 5200

上記のポイントから移動する

移動ポイント数 F3

移動先会員ID F4

添付メッセージ

佐藤さんこんにちは鈴木です。
先日はありがとうございました。
そのお礼に少しですが__ F5

B4

フロントページの続き

(72)発明者 清水 朗
 東京都千代田区麹町5丁目2番地1 株式
 会社オリエントコーポレーション内

(72)発明者 伊東 宏章
 東京都千代田区麹町5丁目2番地1 株式
 会社オリエントコーポレーション法務部気
 付